

第 11 回笠間市補助金等検討委員会議録（要旨）

開催日時：平成 22 年 11 月 11 日（木）

午後 5 時から

開催場所：笠間市役所 3 階会議室

出席委員：6 名（全員出席）

事務局：5 名

・・・・・・・・次 第・・・・・・・・

1. 開 会
2. 会 議
 - (1) 補助金総合評価検討について
 - (2) 答申案について
3. その他
4. 閉 会

委員長：今回を最後といたしますので、よろしく申し上げます。総合評価案について各委員の意見を取りまとめてあるので、1 件毎に検討していきます。

(1) 補助金総合評価検討について

個別補助金の検討については、「審議会等の会議の公開に関する指針」（平成 19 年 1 月 1 日告示第 338 号）第 3 条の規定により、非公開とします。

(2) 答申案について

事務局：前回答申案として示したもののから修正した内容の報告。

（主に言葉と表現の修正）

委 員：p6 について、(8)「概ね改善されている」の表現は、実際には一部しか改善されていないように見受けられるので、おかしいのでは。

委員長：一部しか改善されていないものなのに、「概ね改善されている」数多く見受けられる。

委員：答申の構成の中で、「Ⅲ 笠間市補助金等の現況」となっているが、現況ではなく、前回検討委員会の答申を受けてからの市としてどのような取り組みをしてきたかがメインであるべきであり、一般の方は、前回の中身より今回の資料で知りうるべき内容を求めているため、今回の取り組み過程をわかりやすく入れてほしい。

委員長：前回の検討経過について、今回は関係ないものであり、答申書に、「Ⅱ 前回検討委員会の経過」は関係ないと考えるので修正をお願いしたい。

委員：「Ⅳ 問題点の確認」の記述もいつの時点での問題点かがわからないため、前回から今回までの流れがわかるようになっていないと伝わらないと思う。

事務局：「Ⅴ 笠間市補助金の審査」が前に来て、最後にまとめるような形で、「Ⅳ 問題点の確認」は審査の後で構わないか。この検討委員会の中で問題点を導いたという内容にしたいと思う。

委員：p6の審査のところで、下の61件の説明については、非常に大切なのでもっと初見の方でもわかるように説明を厚くしてもらいたい。

また、「廃止」、「減額・上限設定」など、それぞれに対する表現が曖昧であると、各団体が読んだ時に自分たちがどう検討してよいかかわからないと思うし、検討委員会としての態度をきちんと示すようにして欲しい。

委員：p6「(8) 前回答申による指摘事項に対する対応」については、前回の答申の内容は今回のものに置き換わっているのですが、不要ではないか。前回指摘された事項そのものについても内容が変わっているので、今回の検討委員会が無ければそのまま進めてよいはず。

委員長：削除してもよいと考えるが。

委員：全文削除してしまうと反省が見えないため、反省として残したほうが良いし、市役所担当課が査定するはずが、全く担当課からの見直しに対する熱意が感じられず、それが補助団体の立場にたった受け止め方をしていることに繋がっている様子が見受けられるので、そこを再認識させるような表現にしないと行かない。

委員長：補助事業に対する成果などの検証について、担当課が延々と続いてきた事業を課の業務としているものとしてしまっている。緊張関係があるようなものとして今後行っていくために、担当課にも伝えるような表現にしないでほしい。

委員：前回の答申は、市としての初回だったこともあり表現が弱かったことで対応が曖昧だったことから、今回は、委員会としての要請としての表現にしてほしい。

委員：この答申に対して、今後私たちは結果を知ることはできるのか。

事務局：この内容を各担当部署に周知して、担当課より団体に示すことになる。その後皆様に結果を報告するが、その方法については検討させてほしい。

委員長：答申の中に「総合評価に付帯した」という表現があるが、「付帯した」はおかしいので、修正してほしい。

委員：この答申を受けるのは誰になるのか？

事務局：市長になる。修正後の答申を委員長から市長に手渡しする形になり、その後、庁内で調整し、すでに提出している平成23年度当初予算の要求を修正してもらうようにする。

委員：p11「補助金等評価一覧」のタイトルは、おかしくないか。検討委員会で「審査」したもので、「評価」ではないのでは。

委員長：「補助金等審査結果一覧（総合評価一覧）」となればよいのでは。

委員：前回から3年経って何も変わっていないものもあるので、その答申がどう成果につながったかを皆に周知すべきだと思う。改善に対する件数表記だけでもできないか。

また、実際検討委員会で行った審査は、委員会の主観的な内容でなく、審査基準に基づいた内容であることを表記して欲しい。

審査のまとめの「検討に当たっては」からの3行はもっと詳しく、団体からのヒアリングを行った、特に単独事業についてなどとわかるように記入して欲しい。

事務局：「Ⅶ 総括」と表現が重複するが良いか。

委員：それでも構わないと思う。

委員長：もしくは、総括の表現をもっと前に持ってきて総括はさらっとしたもので良いか。

事務局：以上の意見を基に、修正して再度送るので、確認の上、連絡して欲しい。市長へ答申を手渡すのが15日（月）午後の予定なので、それまでに調整できるようにしたいのでご協力願います。